



## 企画展 「阿寒国立公園と硫黄鉱山」

# 足寄にあった硫黄鉱山

かつて、雌阿寒岳の中マチネシリ火口で採掘し、ケーブル（索道）で麓の山林内におろして精錬し、年間2万トン近くの硫黄を出荷していた。そんな鉱山が足寄にありました。従業員や家族400人が生活する住宅街や診療所がありました。昭和20～30年代のことです。（足寄村と西足寄町が昭和30年に合併して、足寄町が誕生）

釧路市立博物館は、平成26年、阿寒国立公園80周年記念として企画展「阿寒国立公園と硫黄鉱山」を実施しました。足寄町・足寄町民も資料を提供しました。その企画展の内、足寄町に関係する部分を中心にみなさまに紹介いたします。

足寄は、化石だけでなく、「鉱物の町」でもあるのです。



中マチネシリの索道を背に  
右は資料提供をうけた青井技師

**会場:足寄動物化石博物館**  
**ロビー・デスモホール**  
(企画展は無料です)

**期日:4月11日(土)**  
**～5月24日(日)**  
**9時30分～16時30分**

### 現地訪問

雪解け後、硫黄鉱山跡地を訪れる  
見学会を実施する予定です。

足寄動物化石博物館 フォストリーあしよる

指定管理者 NPO法人 あしよるの化石と自然

〒089-3727 北海道足寄町郊南1丁目 TEL 0156-25-9100 FAX 0156-25-9101

staff@museum.ashoro.hokkaido.jp

<http://www.museum.ashoro.hokkaido.jp> (博物館だよりpdf版あり)

No. 133

2015年 3月10日発行  
(年4回発行)

## 入館料（観覧料）に関するお知らせ

4月1日から「展示室」の範囲を広げ、常設展示室・作業展示室・標本展示室の3室からなるエリアとします（右図のグレーで示した範囲）。

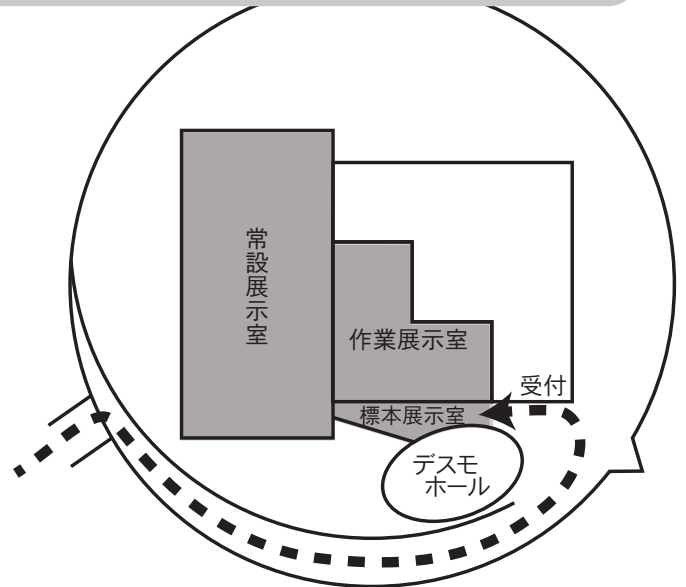
常設展示室では、化石の復元骨格や今の動物の標本を展示し、足寄動物化石の研究や海の哺乳類の進化を説明します。

作業展示室では、化石のクリーニングや復元の作業を公開・展示し、化石体験も作業展示室の中で提供します。

標本展示室では、化石体験に関係する化石・鉱物の標本や「本物にさわれる標本」、新たに発見された標本などを展示します。

これらの展示室に入る方からは展示観覧料として入館料をいただきます。

※町民研修は、ひきつづき実施いたします。



4月1日からグレーの範囲が有料となります

## イベント報告

### ●冬の博物館

1月17日・18日に新年のイベント！冬の博物館を行いました。今年の冬の博物館は、去年よりも内容がグレードアップ！！雪の中から化石やクリスタルを見つける寒中発掘やキャンドルづくりを楽しみました。

参加者は予定人数をオーバーする46人（+参加者の保護者）で、賑やかなイベントになりました。



### ●リコーダーコンサート

リコーダーアンサンブル「kiki」の皆さんによるコンサートが、1月17日にデスモホールで開催されました。冬の博物館の参加者など約20名の皆さんが、古典の名曲から最新のアニメの主題歌まで、美しいリコーダーとピアノのアンサンブルに聞き惚れました。



### ●化石キャンドルづくり

12月20日・21日の2日間、化石の形をしたキャンドルづくりを楽しみました。

参加者は35人でした。



## 雑誌「子供の科学」に掲載

2011年に博物館で行ったクジラ化石の復元が、雑誌「子供の科学」3月号「化石発掘と復元」特集の中で取り上げられました。



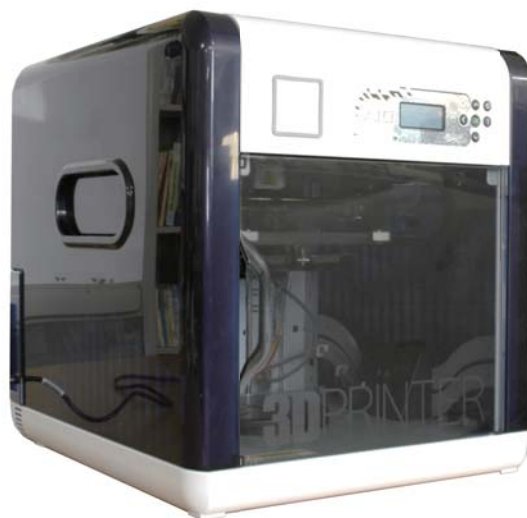
「子供の科学」とは、1924年創刊の雑誌で、一世紀近くになたって科学少年少女の愛読書として親しまれています。

## 3Dプリンタ導入

博物館ではこれまで、パソコン上でデジタルの模型（3DCG）を作ってきました。このほど3Dプリンタを導入して、その模型を出力し、グッズ製作や復元作業に活用することにしました。3Dプリンタを使ったイベントも検討中です。楽しみに。



3Dプリンタで出力した模型



導入した3Dプリンタ

## 俳句雑誌「ホトトギス」に掲載

博物館行事「化石教室」に参加された飯山廣美さん（大菅地出身、帯広市在住）の写生文、タイトルそのまま「化石教室」が、俳句雑誌「ホトトギス」1月号に掲載されました。

「ホトトギス」とは、1897年（明治30年）正岡子規らによって創刊され、夏目漱石が「吾輩は猫である」や「坊ちゃん」を発表した雑誌としても知られています。



# 探鳥会

わたしたちの生活にもっとも身近な野生動物である鳥たちを足寄の野山で探りませんか？

予約不要・参加費無料

- |     |                                            |
|-----|--------------------------------------------|
| 第1回 | 4月12日（日） 午前8時                              |
|     | 川向のJAあしよろ乾燥工場前集合<br>（栄町から共栄橋をわたったところ）      |
| 第2回 | 5月10日（日） 午前8時                              |
|     | 里見が丘公園駐車場の芝桜園入り口集合<br>（郊南交差点から西へ、国道241号沿い） |

\*不明な点は博物館までお問い合わせください。



探鳥会の様子

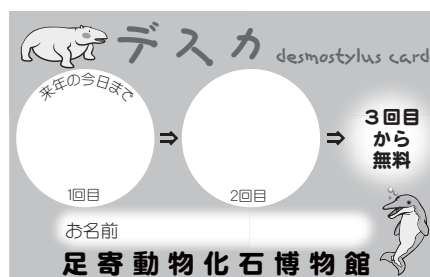
各回とも2時間くらいです。十分な防寒で、第1回は長靴を履いてきて下さい。双眼鏡、カメラ、筆記用具などをお持ちください。

# デスカ導入 3回目から無料！

博物館では新年度から『デスカ（デスモスチルスカード）』を導入します。デスカは三回目からの入館が無料になる、リピーターの皆さんにお得なカードです。

デスカは最初の入館時に押印した日付から一年間有効で、二回目入館で押印後、三回目からの入館が無料になります。

なお、デスカは再発行・譲渡はできず、名前の記入のないカードは使用できません。上手につかって博物館名人になろう！



デスカのおもて面

- このカードを使うと3回目からの入館が無料になります。
- 入館時に提示してください。
- 有効期限は1回目の印から1年間です。
- 1回入館で1つ押印します。
- 団体での入館の際は発行・使用ができません。
- 再発行・譲渡はできません。
- 署名の無いカードは使えません。

## 足寄動物化石博物館

〒089-3727 北海道足寄町郊南1丁目29-25 TEL 0156-25-9100  
休館日：毎週火曜日（海の日から8月末まで無休）、年末年始

デスカのうら面

## 足寄動物化石博物館の利用について

- 開館時間 午前9時30分～午後4時30分（入館締め切り時刻）
- 休館 毎週火曜日（祭日の場合は開館し、翌日またはその後の平日）  
年末（12月30日から）・年始（1月6日まで）
- 料金 一般 400円、小中高・65歳以上 200円  
幼児は無料。足寄町内の小中学生は無料。  
※館の主催事業の際は、無料にすることがあり、その都度お知らせします。



## 編集後記

指定管理の第2期にあたり、館の運営の仕方を一部改めました。有料の範囲が広がる・新しい割引が始まる、など。充実した博物館・博物館だよりをめざします。